

Title	中学校英語教科書の教師用指導書の特徴
Sub Title	
Author	長谷川, 淳一 (Hasegawa, Jun'ichi)
Publisher	慶應義塾大学教職課程センター
Publication year	2025
Jtitle	慶應義塾大学教職課程センター年報 (Annals of the Teacher Training Center Keio University). No.33 (2024.), p.67- 73
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10203872-20250831-0067

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中学校英語教科書の教師用指導書の特徴

長谷川 淳一

(桜美林大学准教授)

1. はじめに

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）により、2021 年 4 月から新しい中学校英語教科書が使用されている。その新しくなった中学校英語教科書に対して、現場の教員は、どのように感じているのであろうか。江利川 (2025)・東洋経済 education × ICT 編集部は、和歌山県国民教育研究所が和歌山県内の中学校英語教員の 107 名から回答を得たアンケート調査（2022 年実施）の結果をオンラインの東洋経済 education × ICT education 特集の中で紹介している。それによると、中学校英語教員の 70% が、「新しい英語教科書の内容が難しくなった」64% が「新しい英語教科書は内容が盛りだくさんで、精選の必要がある」と答え、学習指導の困難さを訴えている。

多忙な中学校の教員にとって、その学習指導の困難さに対処する際の一助となる可能性のある教科書の教師用指導書には、教科書の使用における創意工夫、学習指導の手順のヒント及び留意点等の多くの有益な情報が掲載されている。

そこで、本稿では、2021 年度版の 6 種類の中学校英語教科書の教師用指導書に注目し、それぞれの特徴を明らかにする。

2. 調査

2.1 調査の目的

教員が教材研究に活用することが考えられる 2021 年度版中学校英語教科書の教師用指導書の特徴を明らかにする。

2.2 調査の対象

調査の対象となった 6 種類の中学校英語教科書の教師用指導書は、以下の通りで

ある。

Here We Go! English Course 光村図書（以下 *HW* と表記）Teacher's Book

New Crown English Series 三省堂（以下 *NC* と表記）Teacher's Book

New Horizon English Course 東京書籍（以下 *NH* と表記）Teacher's Book 朱書編

Sunshine English Course 開隆堂（以下 *SS* と表記）Teacher's Book

Blue Sky English Course 啓林館（以下 *BS* と表記）Teacher's Book 朱註

One World English Course 教育出版（以下 *OW* と表記）Teacher's Book

なお、教師用指導書は各教科書会社によって様々に分冊にされているため、調査は授業運営上の基礎となる指導書（Teacher's Book）の記載内容に限定した。また1年生用と2年生用、3年生用は、相互参照しながら総合して表にまとめた。表中の各項目において、全ての課に該当する場合は○、全ての課に該当しない場合は×、全ての課ではないが該当する課もある場合には△で記した。

2.3 調査の方法

2021年度版中学校英語教科書の教師用指導書の特徴を以下の3観点から表にまとめ、概観する。

- (1) 内容構成
- (2) 特色
- (3) 共通記載事項

2.4 調査の結果

- (1) 内容構成

表1は、6種類の教師用指導書の内容構成における取扱いの有無を示したものである。単元構成の説明、場面の設定、単元目標の提示、指導の流れは、全ての教師用指導書で記載されている。これらは、教師用指導書の必須事項であり、各指導書とも紙面に工夫を凝らして、わかりやすく解説している。反対に、スモールトーク例はどの教師用指導書も取扱っていない。ただし、本文の内容についてのオーラルイントロダクションとしての取扱いは1つの教師用指導書に見られた。

文法に関しては、文法用語も含めて、説明の英語訳が施されている指導書が2種類見受けられたが、一般の生徒向けというよりも、帰国子女対応あるいは、教師の研修向けであろうか。歌の解説は、○及び△と×に分かれた。×は、教科書に歌が掲載されていないという意味ではなく、和訳や解説が書かれていないことである。

△は、歌が掲載されていない学年の教科書があることによる。付録は、教科書の巻末にある英語学習の参考になる資料のことであるが、簡単な説明や英語訳がある場合には△にした。説明等が全くない指導書は、2種類であった。Can-Do List も歌と同様に、全ての教科書で取扱っているが、英訳版を掲載している指導書は2種類であった。前述のように、2種類の指導書には、文法の英語訳も掲載されているが、それらの指導書のほとんどのページに英語訳が付されているのが特徴的である。

表1 各教師用指導書の内容構成

項目 教科書	単元 構成 の 説明	場面 の 設定	単元 目標の 提示	指導の 流れ	文法の 英語訳	歌の 解説	付録に関 する説明	スモール トーク例	Can-Do List の 英語訳
<i>HW</i>	○	○	○	○	×	○	△	×	×
<i>NC</i>	○	○	○	○	×	○	△	×	×
<i>NH</i>	○	○	○	○	○	△	△	×	○
<i>SS</i>	○	○	○	○	×	×	×	×	×
<i>BS</i>	○	○	○	○	×	×	×	×	×
<i>OW</i>	○	○	○	○	○	×	△	×	○

(2) 特色

表2は、各教師用指導書の特色と想定される以下の項目に対する取扱いの有無を表したものである。取扱い状況に多少の差異はあるが、ねらいの説明、指導上の留意点、題材情報、音声スクリプト、音声情報、Q&A（解答例）、クラスルーム・イングリッシュの項目は、全ての教師用指導書で扱われている。ただし、題材情報に関して1種類のみ△になっているのは、具体的には、ディベートの説明以外は、題材に関する言及は指導書の中ではされていなかったことによる。他方、本文和訳の項目に関しては、3種類の教師用指導書が△となっている。この△は、全文和訳ではな

く、各教師用指導書が必要と思われる部分のみ和訳している状況を指している。

次に、それぞれの教師用指導書の特色として顕著な例を挙げる。

*HW*は、音声情報が非常に豊富である。音読を推奨し、感情の移り変わりの表現指導など、特に物語の音読の仕方を詳しく解説している。また、題材に関する解説も興味深い。さらに、教科書の題材に関する背景的な、一般常識的な知識である内容スキーマだけでなく、談話パターンの知識などの形式スキーマに対しても、わかりやすく説明している。

*NC*は、小学校英語との連携の観点から小学校での指導内容の振り返りから始まり、中学校英語に上手に接続する指導法をいろいろと提示している。音声情報に関しては、英語の強弱リズム、場面や状況に合うように声色を変えるとといった音読の仕方、朗読の仕方を丁寧に解説している。また、本文の場面転換を表示するなど、斬新な試みも見られる。さらに、*HW*と同様に、内容スキーマと形式スキーマを特に「読む」ことを中心に解説を加えている。「発展」というコーナーでは、「中学校段階での必修事項ではなく、一律に学習する必要のない内容」という記述も、現場の教師にとっては、重要な情報と言える。教科書の主な登場人物を英語で紹介している点は、他の教師用指導書には見られない特色である。

*NH*は、非常に多彩な情報を提供している。例えば、教科書の登場人物の詳細な背景的説明、部分的ではあるものの本文和訳の自然な日本語訳の例示、題材の原作紹介、教科書の活用法の説明、言語活動の英語訳、先の内容スキーマと形式スキーマの解説、先の音読・朗読の仕方の説明、本文の強弱リズムとイントネーションの説明、教科書に掲載された写真の英語説明など、枚挙に暇がない。とりわけ、題材との関連で、教科横断的に他教科の教科書の紙面にアクセスできるように該当ページを表示したり、既出事項の相互参照や類似表現の相互参照を可能にしたりする工夫が見られるのは、特筆に値する。さらに、本文で取り上げられた対話場면을日本語で説明をしたり、仮定法を中学校で扱うことのねらいまで念入りに解説を加えたりすることによって、独自色を出している。

*SS*は、主に指導内容の紹介に特色がある。例えば、音読指導の観点からスラッシュリーディングの導入の仕方、スピーチ原稿作成のために発想を広げるためのマッピングの紹介、先の内容スキーマと形式スキーマの説明などが挙げられる。題材情報については、学年が上がるごとに、説明がより詳しくなっている。

*BS*は、紙面が見やすく、音読情報と題材情報に特色がある。音読のポイントや発表する時のポイントが詳しく記述され、説明もわかりやすい。題材情報に至っては、内容スキーマが重視されており、英語訳も付記されているため、オーラルイントロ

ダクションにも活用できる。

OWは、BSと対照的に、内容スキーマよりも形式スキーマを重視した解説が中心である。また、インプットに重きが置かれた説明も見受けられる。その他の特色としては、英語の書き方のルール of 英語訳や復習の仕方の英語訳が挙げられる。巻末の「小学校で学習したと見なした語の相互参照」は、中学校1年生を担当する英語教師には役立つ内容である。

表2 各教師用指導書の特徴

項目 教科書	ねらいの 説明	指導上の 留意点	題材情報	音声 スクリプト	音声 情報	Q&A (解答 例)	本文和訳	クラス ルーム ・イング リッシュ
HW	○	△	○	○	○	○	△	○
NC	○	○	○	○	○	○	△	○
NH	○	○	○	○	○	○	△	○
SS	○	△	○	○	○	○	×	○
BS	○	△	○	○	○	○	×	○
OW	○	○	△	○	○	○	×	○

(3) 共通記載事項

表3は、表1と表2の結果を踏まえて、6種類の教師用指導書に共通に記載されている事項を提示したものである。△の印は、質ではなく、単に記述量の差を示すものにすぎない。

教材観、自己意識、相手意識、自国文化の理解、異文化・多文化理解、考える指導の観点は、英語教師が常に意識しておく必要があるだろう。その意味でも、日々の教材研究として、教師用指導書を参考にする価値があるように思われる。

表3 各教師用指導書の共通記載事項

項目 教科書	教材観	自己意識	相手意識	自国文化の理解	異文化・多文化理解	考える指導
<i>HW</i>	○	△	△	○	○	○
<i>NC</i>	○	○	○	○	○	○
<i>NH</i>	○	○	○	○	○	○
<i>SS</i>	○	○	○	○	○	○
<i>BS</i>	○	○	○	○	○	○
<i>OW</i>	○	○	○	○	○	○

3. おわりに

「英語教科書の比較調査」と同様に、その教師用指導書を比較調査することは、「教科書で教える」上での指導法研究につながると言えよう。今回調査した教師用指導書の特徴を「内容構成」「特色」「共通記載事項」から把握したことで、言語材料の提示の仕方やその導入順序、言語活動における斬新なアイデア、題材の取扱い方、そして教員の指導力を引き出し、学習指導に影響を及ぼす教科書観を改めて認識することができた。それと同時に、教材研究をする時間を見つけるのに苦勞されておられる現場の教師にとって、簡潔かつ体系的にまとめられた教師用指導書の必要性も痛感している。今後は、デジタル教科書を含め、「教科書リテラシー」を目指した教師用指導書のさらなる開発が求められる。

参考文献

江利川春雄 (2025)・東洋経済 education × ICT 編集部「小学校段階で「英語格差」、「英語嫌い」が増え、教員も指導困難に陥った根本原因」東洋経済 education × ICT education 特集.

小串雅則 (2011).『英語検定教科書 制度、教材、そして活用』三省堂.

長谷川淳一 (2022).「小学校英語教科書の教師用指導書の特徴」, 慶應義塾大学教職課程センター「年報」第 31 号.